



～学校アンケートの結果（児童・保護者・教職員）～

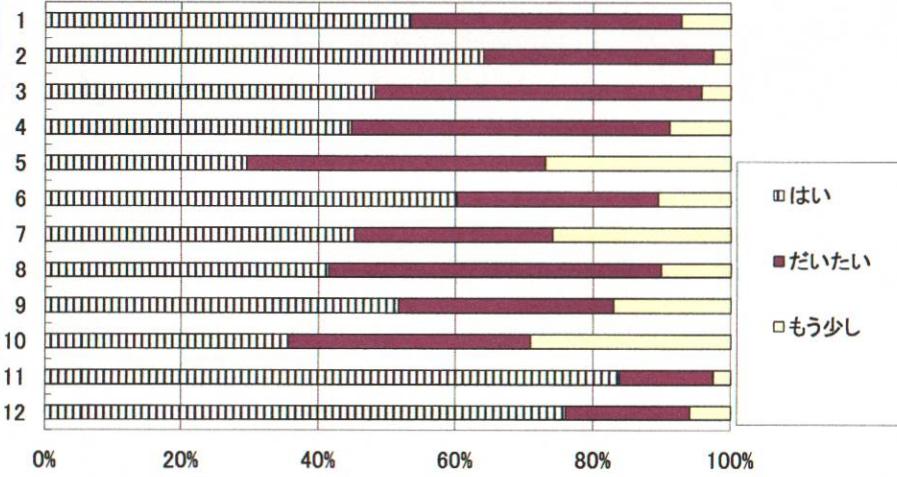


前期に実施したアンケートの集計ができました。ご協力ありがとうございました。

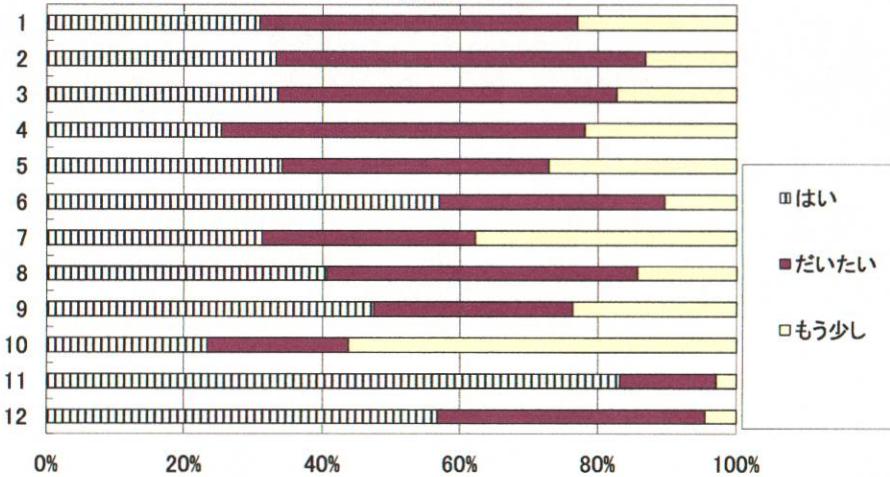
児童・保護者・教職員が同じ項目内容のアンケートを行いましたが、その結果から、子どもたちや保護者の方々の様々な思いや、課題が浮かび上がってきました。

1	進んでたくさん的人にあいさつをしていますか？	7	朝ごはんでは、ごはんやパンだけでなく、おかずも食べていますか？
2	しっかりと返事ができていますか？	8	忘れ物をしないように学習の準備ができますか？
3	人の話を最後までしっかりと聞くことができていますか？	9	毎日、家庭学習ができますか？（家庭学習の目安の時間は、学年×15分です）
4	自分の思いを相手に伝えるようにしっかりと話すことができますか？	10	家で毎日、読書をしていますか？
5	早寝はできていますか？	11	朝は集団登校のルールを守りながら来て、帰りは通学路を安全に帰っていますか？
6	早起きはできていますか？	12	交通ルールを守り、安全な自転車の乗り方や歩き方ができますか？

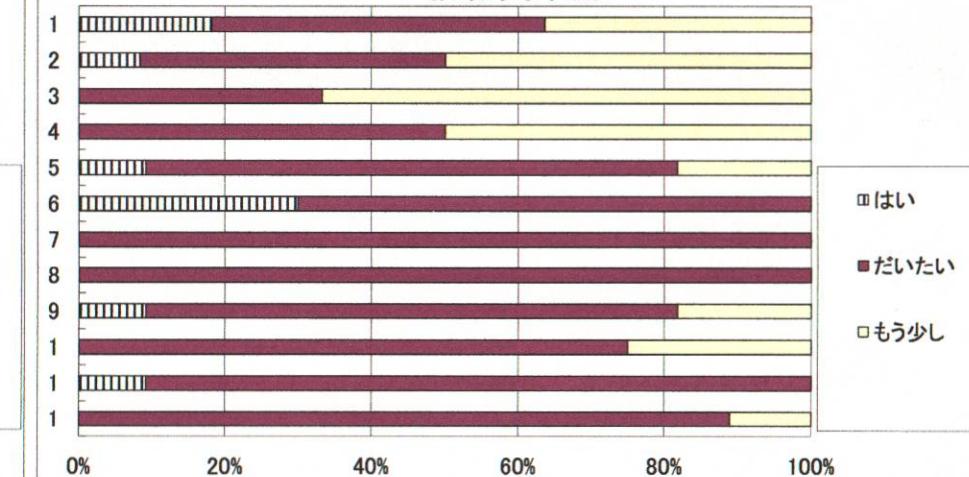
児童集計



保護者集計



教職員集計



☆全体的に「しっかりできている」「どちらかといえばできている」と答えた子どもが多くを占めました。その中でも特に割合が高かったのが、設問11の「朝は集団登校のルールを守りながら来て、帰りは通学路を安全に帰っていますか？」でした。しっかりできている・どちらかといえばできているの2つを合わせると、97%と非常に高い値でした。安全に登校しようとする子どもたちの気持ちのあらわれだと考えます。昨年度から始まった、四ノ宮地区での水道管工事もあり、いつも以上に子どもたちの安全に対する意識が高まってきていると感じています。高学年がリーダーシップをとって集団登校をきちんと行う日常の姿とともに、見守り隊の方々の活動、そして地域委員を中心とした保護者の方々の取組がよい結果を導いているのだと考えています。本当にありがとうございます。しかし、毎朝、子どもたちの登校指導をしていると、家を出るのが遅れて一人で登校する子を見るのも事実です。遅れて来ることが当たり前のこととならないよう、学校でも再度、指導を徹底をしていきたいと思います。

また、設問2の「しっかりと返事ができていますか？」も、しっかりできている・どちらかといえばできているの2つを合わせると、97%と高い値でした。今年度から、児童ががんばる行動目標として、「あいさつ・返事・聞く・話す」を提示してきたのですが、改めて、全校で取り組むことの大切さをアンケート結果から感じ取りました。

☆全体を通して特に「できている」と高く評価していただいたのは、設問11「朝は集団登校のルールを守りながら来て、帰りは通学路を安全に帰っていますか？」、設問12「交通ルールを守り、安全な自転車の乗り方や歩き方ができていますか？」でした。とりわけ「集団登校・下校」については、見守り隊の皆様や地域委員様をはじめ、ご家庭や地域で子どもたちの様子をしっかりと見ていただいている証であると思います。いつもありがとうございます。

逆に子どもたち、そして教職員の評価にくらべて評価が低かったのが、設問10「家で毎日、読書をしていますか？」でした。できていると答えた割合は、子どもたちが70.9%，教職員が75%だったのに対して、保護者の方の評価は43.7%でした。なお、この数値は昨年度後期に行ったアンケートと比べても、1ポイント低い数値となりました。「読む力は生きる力」とも言われます。読書を通して培われる想像力や論理的に考える力は、未来を生きる子どもたちにとって不可欠な力であると思います。学校では今後も、積極的に地域にある山科図書館等とも連携し、読書活動に力を入れていきたいと思います。

また、朝読書の充実や教室に置く学級文庫の見直しなども行い、子どもたちの読書の習慣をさらに高めていくよう取り組んでいきたいと思います。

今回は、全体的に子どもたちに比べて厳しい評価となっています。このように児童と保護者の評価に差があることは、子どもたちが考える以上に、よりよくなつてほしいと願う保護者の皆様のお気持ちの表れでもあると考えています。これからもご支援よろしくお願ひいたします。

☆特に「できている」と答えた教職員の割合が高かったのは、設問11「朝は集団登校のルールを守りながら来て、帰りは通学路を安全に帰っていますか？」です。子どもたちの集計結果同様、見守り隊や地域の皆様方、そして地域委員をはじめとした保護者の方々の力強い支援があつたことだと感じています。本当にありがとうございます。

逆に課題としては、設問3の「人の話を最後までしっかりと聞くことができていますか？」でした。「しっかりできている」「どちらかといえばできている」と答えた教職員の割合は33.3%でした（同じ設問で「しっかりできている」「どちらかといえばできている」と答えた子どもの割合は95.7%，保護者の方は82.7%でした）。今年度から、学校が目指す行動目標として、「あいさつ・返事・聞く・話す」を掲げています。落ち着いて人の話を聞くことができる力は、その子の生涯にわたって貴重な財産であるとも言えます。あいさつ・返事、そして話すことともリンクさせながら継続して取り組んでいきたいと思います。

また、保護者の方の評価と教職員のそれとで若干のずれが見られるのは、家庭と学校で子どもたちの見せる姿が異なったり、親と教職員という子どもを見る視点の違いがあつたりすることから生じているかもしれません。子どもたちの様子や教育について、これからもなお一層、学校とご家庭が連絡・連携を密にして話し合いながら取り組んでいくことができればと思います。ご協力よろしくお願ひいたします。

市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核としての音羽小学校をめざして

京都市では、今日に至る教育改革の柱として、徹底して「開かれた学校づくり」を推進してきました。これは、学校と家庭・地域との相互の信頼と協働の関係を構築する基盤となっています。今後も、保護者・地域の方々に参画いただき、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を展開していきます。変化の激しい現代社会において、子どもたちが夢と希望をもって未来を切り拓いていく、「生きる力」を育み、社会全体で子どもたちの教育に取り組んでいくことが大切です。子どもたちの豊かな学びと育ちのために、なおいっそのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

特集 学校評価(2)～学校アンケートの結果～

前期に実施したアンケートでは、下記の項目に対して保護者の方と教職員が評価をしました。

	アンケート項目
1	学校からの配布物や学校ホームページを通して、学校の様子が伝わっていますか？
2	学校は、一人一人の子どもたちが大切にされた教育を行えていますか？
3	学校は、子どもたちの安全が守られる教育が行えていますか？
4	学校に、お子さんの教育で困ったときや相談したいときに何でも話せる教職員がいますか？
5	学校は、子どもたちにとって分かりやすい授業が展開できていますか？

保護者の方から

☆どの項目も8割前後「できている」という高い評価でした。前期同様、設問1「学校だよりや学校ホームページをご覧になっていますか？」と設問2「学校行事に参加されていますか？」の2つの設問が高い評価でした。保護者の方々に学校取組について高い関心をもっていただいていることがうかがえます。学校としても学校だよりやホームページの充実に努めていきたいと思います。設問3「町内・地域の行事やPTA行事に参加されていますか？」については、79.8%でした。行事については参加したいというお気持ちはあるてもご都合がつかない場合が多いのではないかと思われます。

教職員から

☆保護者の方の回答と同様に設問1と2が大変高い評価でした。特に設問2では、「しっかりできている」「どちらかといえばできている」と答えた教職員の割合は100%でした。教職員から見て、保護者の方々の教育への高い関心がうかがえました。これからも多くの保護者の方々に学校の取組を知っていただき、ともに子どもたちを育んでいきたいと思います。

設問3については、昨年同様やや低い評価となりました。教職員自身も自分の住む地域行事への参加をふり返った時になかなか参加できていない自分への反省も心に浮かんだのかもしれません。日々忙しい中ではありますが、町内・地域の行事やPTA行事を通して子どもたちを育んでいくことを今後も大切にしていきたいと思います。

前期実施のアンケートでは地域の方々にもご協力いただき、アンケートを実施しました。その結果から地域の方の様々な思いや、課題が浮かび上がってきました。

	アンケート項目
1	子どもたちからあいさつをしていますか？
2	子どもたちは、登下校時や放課後、休日に交通ルールを守り、安全に過ごすことができていますか？
3	子どもたちは、進んで地域行事に参加していますか？
4	学校教育のねらいが伝わっていますか？
5	学校だより・学校ホームページ等を通して、学校の様子が伝わっていますか？
6	教職員は、率先して地域の方にあいさつをしていますか？
7	学校は、安心・安全な場所になっていると思いますか？
8	学校は、環境整備や美化活動に取り組めていますか？
9	学校が中心となって、地域・PTAと連携が取れていますか？
10	学校は、地域を大事にし、地域の方が学校の行事に参加しやすい取組ができていますか？

アンケートの結果から、地域の皆様の思いに次のような傾向があることがわかりました。

★あいさつがもっとできる子になってほしい。

★学校が安心・安全な場所であってほしい。

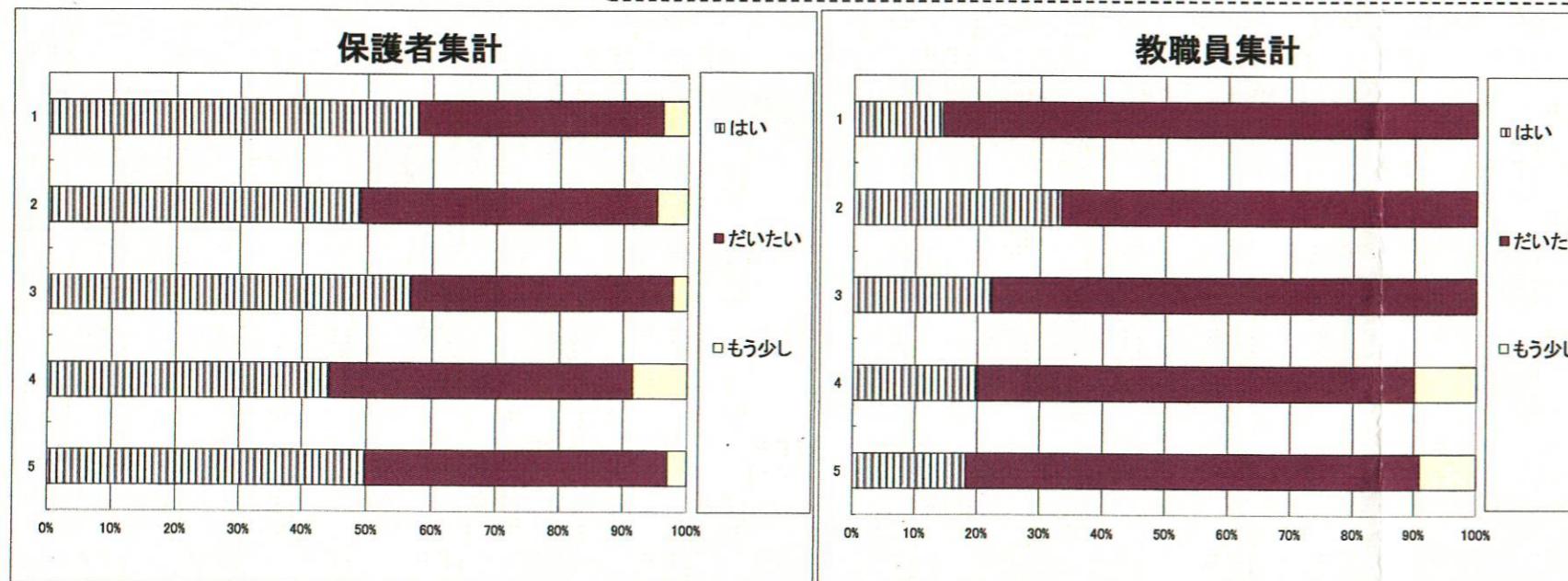
★子どもたちは、地域の宝である。

また、アンケートと同時に多くのご意見をご記入いただきました。いくつか紹介します。

- ・子どもたちのあいさつはまちまちで、いつもしっかりとあいさつをする子どもとあまりできない子どもとまちまちのように思う。こちらから大声で声をかけてやるよう努めている。
- ・見守り隊にはいつも頭が下がります。子どもたちが学校と地域でしっかり守られていると思います。
- ・校内の美化、清掃が十分に出来ていないように思います。年2回位、地域とPTAで清掃をしてはどうでしょう？「古いから汚い」ではない学校に..

安心・安全な学校を目指して、施設面での改善に取り組んでいます。子どもたちが毎日、登下校の際に使っている北門にインターフォンを設置しました。また、敷地内での事故防止のため、車止めのチェーンをプール脇に設置しました。さらに、以前までは夜間、暗かった正門付近の照明もLEDのライトを導入することで、防犯面での改善にも取り組んでいます。

今後も、安心・安全な学校づくりに努め、保護者や地域の皆様と共に育む音羽小学校を目指していきたいと思います。



地域・家庭・学校が ともに手をつないで

お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回のアンケート結果から、音羽小学校の教育が地域の皆様・保護者の皆様のお力に支えられていることを改めて感じました。また、貴重なご意見から課題も明らかにすることができます。

今後も地域・家庭・学校のつながりを大切にしながら、学校教育目標「すすんで(勇) なかまと(仁) よりよく(智) 生くる子」の具現化をめざし、取組を進めて参りたいと思います。

これからも、変わらぬご理解・ご支援をよろしくお願ひいたします。

